

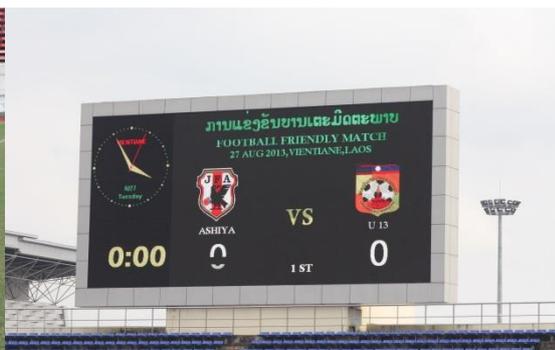
2013芦屋市U 1 4 トレセン親善試合報告

ラオスの首都ビエンチャンにある国立競技場でU-13のラオス代表と試合をしました。芝生の状態は、日本に比べると良くなかったが、50名ぐらいの鳴り物を鳴らすラオスのサポーターの中、普段日本にいとプレーすることができない大きなスタジアムで、国を代表する選手相手に試合ができたことは、子供達にとって貴重で素晴らしい経験になったと思います。

●8月27日（火）午後からラオスU-13代表と親善試合を行った。

V S U-13 ラオス代表 2-2（前半1-1・後半1-1）35分ハーフ

ラオス代表は1つ下のカテゴリではあったがフィジカル的には芦屋トレセンよりも優れていて基本技術もしっかりしていた。プレースタイルはシンプルにボールを動かし縦に速く攻撃し、選手全員がハードワークを厭わない非常に良いチームでした。ポジションして主導権を握りながらゲームを進めることが出来たがサポートの質など細かいポディション取りなどが出来ていなかったのでシュートまでいく回数が不足していた。DF面では切り替えの部分が遅く相手の攻撃を遅らせることが出来ずカウンターを受ける場面が多かった。



●8月29日（水）午後からラオスU-13代表と親善試合を行った。

V S U-13 ラオス代表 2-2（前半0-1・後半2-1）35分ハーフ

昨日のゲームに出場していない選手を中心に前半は押されるゲーム展開になった。

昨日のゲームの課題を修正することも出来ず先制され前半を終了する。後半は今回の遠征で良いプレーが出来ていた選手で臨んだ。後半開始早々に追いつくが相手に追加点を奪われ終了直前に追いつくゲームでした。

課題は多くありますが攻撃面ではサポートの質・量ともに不足している。ボールを引き出す為にいつ・どこで・どのようにサポートするかの判断力を個々にあげていかなければいけない。守備面ではまず個々の切り替えスピードをあげてボールに対してプレスがかかることが不足している為、カウンターを受けやすくなっている。攻撃のサポートの距離感が遠くなっていたりするのでプレスがかからないなど良い攻撃が良い守備につながる事などこれから伝えて行きたい。

